

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材
国語総合	1年薬業科	2	高校生の国語総合 （明治書院）	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生の国語総合演習ノート （明治書院） ・級別漢字マスター（数研出版） ・カラーワイド新国語要覧 （大修館書店）
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校における国語学習の基本として、現代文・古文・漢文の基礎知識を育成する。 ・現代社会の課題を考えさせる教材を通して思考力を育成する。 ・従来の「読むこと」主体の国語教育に加えて、「話すこと・聞くこと」「書くこと」といった「表現する力」の育成もめざす。 			
単元	学習内容	到達度目標		
考えること、思うこと	子供の問い	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成に注意しながら、筆者の主張を読み取る。 ・ソクラテスと子供の共通点・相違点を知る。 ・「哲学をする」とはどういうことかを知る。 ・作品全体の構成や内容をつかむ。 ・「人間の存在そのものの哀しさ」について考える。 ・作者の他の作品と読みくらべをする。 ・平易な表現で書かれた現代小説を読み、読むことの楽しさを味わう。 ・登場人物の人物像をつかみ、心情の変化を読み取る。 ・主人公の男性を通して、自他を意識する場合の人間心理の動きについて考え、理解を深める。 ・歴史的仮名遣いと現代仮名遣いとの違いに注意しながら、正しく音読する。 ・人物の行動を正しく把握し、内容を理解する。 ・平安時代の生活文化や風習など、古文を読む上で必要となる基礎知識を身につける。 ・主語や目的語を補いながら、口語訳ができる。 ・基本的な漢文句法や用字の知識を身につける。 ・句法に基づき、正確な書き下し文、現代語訳ができるようにする。 ・故事の内容を理解し、現代にも通じる教えを読み取る。 ・作品の表現に即して下人の心理を追い、作品の主題に迫る。 ・下人の行動について意見を交換する。 ・近代文学の名作に触れ、読書の幅を広げる。 ・清兵衛が大人たちを恨む心を失った理由について理解する。 ・人間の生き方について考えたことを文章にまとめる。 ・係り結びの法則を理解する。 ・日常のだれしもが持っている感覚を見事に描き出していることを読み取る。 		
	人間の哀しさ			
小説を読む	指			
古文に親しむ	児のそら寝			
	検非違使忠明			
	竹生島の水練			
漢文に親しむ	訓読			
	故事			
小説を味わう	羅生門			
	清兵衛と瓢箪			
随筆（古文）	徒然草			

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材
国語総合	2年薬業科	2	高校生の国語総合 （明治書院）	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生の国語総合演習ノート （明治書院） ・ライトパーフェクト演習 （尚文出版）
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校における国語学習の基本として、現代文・古文・漢文の基礎知識を育成する。 ・現代社会の課題を考えさせる教材を通して思考力を育成する。 ・従来の「読むこと」主体の国語教育に加えて、「話すこと・聞くこと」「書くこと」といった「表現する力」の育成もめざす。 			
単元	学習内容	到達度目標		
随想	鉄塔を登る男	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の随想に触れ、考え、感じる態度を育てる。 ・文章の構成に注意しながら、筆者の主張を読み取る。 ・作品全体の構成や内容をつかむ。 		
	遠さの構造			
評論	不安をより強く生きる力とするためには	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張を理解し、自分で考えることの意義を知る。 		
小説	新聞少年の歌	<ul style="list-style-type: none"> ・平易な表現で書かれた現代小説を読み、読むことの楽しさを味わう。 ・名作を読むことで、人生の様々な機微に触れる。 ・登場人物の人物像をつかみ、心情の変化を読み取る。 		
	雨傘			
	ひよこの目			
韻文	短歌と俳句	<ul style="list-style-type: none"> ・日本独特の韻文のリズムを味わう。短詩で表現することの楽しさを知る。 		
表現	説得力のある話し方	<ul style="list-style-type: none"> ・ディベートを通して考えを深める。 		
古文	平家物語	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いと現代仮名遣いとの違いに注意しながら、正しく音読する。 ・人物の行動を正しく把握し、内容を理解する。 ・日本伝承の和歌の美しさとおもしろさを味わう。 		
	和歌			
	奥の細道			
漢文	唐詩	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な漢文句法や用字の知識を身につける。 ・漢詩のリズムを味わう。 		
	論語	<ul style="list-style-type: none"> ・孔子の考えを知る。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材
地理・歴史 世界史A	2年 (薬業科)	2	『明解世界史A』 (帝国書院)	『プロムナード世界史』
科目の概要と目標	近・現代の世界の歴史を知ることにより、現在の政治・社会問題の歴史的背景を理解する。			
単元	学 習 内 容	到 達 度 目 標		
ヨーロッパとアメリカの諸革命	アメリカ独立革命とフランス革命 ナポレオンのヨーロッパ支配からウィーン体制 産業革命 自由主義の進展 南北戦争	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ・フランスの革命が相互に関連を持ちながら起こったことを理解する。また、それらが果たした歴史的意義について、多角的に考察できる。 ・イギリスの産業革命の背景と展開について理解することができる。 ・産業革命がもたらした影響について多角的に考察することができる。 ・19世紀前半の革命、自由主義運動の展開により現代の欧米の原型ができたことを説明することができる。 		
アジア諸国の動揺	アジアの植民地化 中国と日本の近代化 東アジアをめぐる国際関係	<ul style="list-style-type: none"> ・欧米列強のアジア進出の過程と背景について考察し、説明することができる。 ・帝国主義列強の世界政策と植民地支配、それに対する反帝国主義植民地運動の高まりや近代化の動きについて理解することができる。 		
二つの世界大戦の時代	第一次世界大戦 世界恐慌とファシズム 第二次世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦の原因・性格・影響、戦後の世界の変化について理解することができる。 ・世界恐慌の原因と影響、各国の恐慌対策について知識を深めることができる。 ・第二次世界大戦の原因や性格などについて現在まで残る諸問題にも着目しながら考察することができる。 ・第二次世界大戦後の国際関係や、各地域の動向を地図や資料から読み取ることができる。 		
戦後の世界	冷たい戦争の時代	<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦体制から各地の戦後の動向を大まかに把握する。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材
地理歴史 日本史A	3年 薬業科	2	高校日本史A（実教出版）	最新日本史図表
科目の概要と 目標	日本の帝国主義政策によって、2度にわたる世界大戦を経験した。日本にとってどのような影響を及ぼし、日本が世界的にどのような形になっていったかを考察する。			
単 元	学 習 内 容		到 達 度 目 標	
大日本帝国の 展開	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1次世界大戦 ・ 対華二十一ヶ条要求 ・ 第1次世界大戦後の世界 ・ 第1次世界大戦後の日本経済と社会 ・ 恐慌と対外戦略 ・ 満州事変と中国侵略 ・ 第2次世界大戦と国民生活 ・ 敗戦 ・ アジアの犠牲 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の大陸進出が帝国主義的な側面を持っていたことが理解できる。 ・ 大戦後の会議が、日本の軍事力伸張を押さえる側面を持っていたことに気づく。 ・ 日本経済がヨーロッパでの混乱で発展していくことに気づき、その中で社会運動の基礎ができたことを確認する。 ・ 恐慌が日本経済を直撃し、その立て直しのため市場としての大陸に目が向けられたことが理解できる。 ・ 市場としての中国がなぜ大切なのか、また、経済面での回復が思うようにいかなかったことに気づく。 ・ 各国が利益確保のために争う様子や自由の獲得に立ち上がる様子が理解できる。 ・ なぜ日本が戦争という道を選んだのか、敗戦に至るまでの過程を理解できる。 ・ 戦争が自国だけではなく、他国の経済・文化・生活を破壊してしまうことを確認する。 	
日本国憲法と 現代社会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 戦後の日本社会と国際社会への復帰 ・ 高度経済成長と日中国交回復 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 戦後の復興に尽力した人々の様子が理解できる。 ・ 高度経済成長と日本が歩んできた道、そしてこれから歩むべき道を考えることができる。 	

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書(出版社)	使用教材
地理歴史 地理A	3年 薬業科	2	高等学校 新地理A 最新版 (帝国書院) 新詳高等地図 初訂版 (帝国書院)	高等学校 新地理Aノート (帝国書院)
科目の概要と 目標	<p>現代世界の地理的課題について、地域性を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。</p> <p>地理Aは国際化の進展など、社会の変化に伴って現代世界が抱える課題を地理的に考察することに重点を置いたものである。</p>			
単元	学習内容		到達度目標	
私たちの地球 を見つめる	球面上の世界と地域構成 結びつく現代世界 多様さを増す人間行動と現代世界		地球儀と世界地図を比較するなどし 大陸と海洋の形状や各国の位置関係、方 位、時差などを捉えることができる。 人や物の国際間の移動について、資料 の収集、分析を行うことができる。	
さまざまな地 域の生活と環 境	人間生活を取りまく環境 世界の諸地域の生活と文化 近隣諸国の生活・文化と日本 韓国、中国、ロシアの生活文化		世界の諸地域の生活、文化を地理的環境 や民族性と関連づけて考察することが できる。 近隣諸国の文化について考察し、日本と の共通性、異質性を地理的に考察する視 点や方法を身につける。	
地球的に広が る課題	地球的課題と私たち 世界の人口問題、食糧問題、都市 問題、資源・エネルギー問題 世界の環境問題 近隣諸国が取り組む課題と日本の 役割		世界の人口問題、食糧問題、都市問題、 資源・エネルギー問題について、地球的 および、地域的視野から追求する。 その際には、地域性を考慮した国際協 力が不可欠であることを理解する。 将来における日本の役割について考 察する。	

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材
公民・現代社会	1年 葉業科	2	現代社会（東京書籍）	最新 ダイナミックワイド現代社会
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> 倫理，社会，文化，政治，経済など様々な観点から現代社会の諸問題追究し、時事的な問題と関連させながら，現代社会に対する興味・関心を高める。 現代社会について多様な角度から理解させるとともに，現代社会と自己との関わりを理解し，いかに生きるかを主体的に考えさせる。 			
単元	学習内容		到達度目標	
現代に生きるわたしたちの課題	地球環境とわたしたちの未来 資源・エネルギー問題とわたしたちの生き方 科学技術の発達と生命 日常生活と宗教や芸術とのかかわり 豊かな生活と福祉社会のあり方		<ul style="list-style-type: none"> 地球環境問題などの問題について、自己の在り方生き方と関連させながら考察し、説明することができる。 	
現代の社会生活と成年	現代社会の特質とわたしたちの生活 現代社会と青年の生き方 よりよく生きることを求めて		<ul style="list-style-type: none"> 現代社会の特質や青年期の意義などについて理解させ、自己形成の課題として問題をとらえ、主体的にいかに生きるかを考えることができる。 	
日本国憲法と民主政治	民主政治とは 日本国憲法と基本的人権 国会・内閣・裁判所 政治参加と民主政治		<ul style="list-style-type: none"> 基本的人権が保障されるにいたった経緯を、さまざまな手段で資料を収集し、具体的事例をあげて考察し、理解することができる。 日本国憲法の成立過程、天皇の地位の変化、日本国憲法の三つの基本原理について主体的に理解することができる。 地方自治に住民はどのような権利をもっているか、また、地方自治のもつ課題について、自分自身の問題として具体的に考察することができる。 	
現代の経済と国民福祉	経済のしくみ 政府の経済的役割 変化する日本経済 豊かな生活の実現		<ul style="list-style-type: none"> 企業・家計・政府はどのような活動をしているか、企業の社会的責任や中小企業の役割を理解することができる 市場経済のしくみ、価格機構のはたらきについて理解することができる。 財政政策の意義、日本の財政の課題を理解し、財政のしくみと租税の意義と課題について、具体的に事例をあげて考察し、主体的に考えることができる。 貿易の意義、円高・円安の生じる理由を考察することができる。 	
国際社会と人類の課題	国境をこえる経済 ボーダーレス化のなかの地域 国際社会の成立と戦後の動き 国際社会の課題		<ul style="list-style-type: none"> 現実の国際経済の問題と教科書内容を関連させて、多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場を踏まえ公正な判断ができる。 資料を通して南北問題における先進国の加害性について認識することができる。 イラクや北朝鮮の核問題について、NPTやIAEAと関連させながら理解することができる。 	

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書 (出版社)	使用教材
数学・数学 I	1 学年・葉業科	3	新版数学 I (実教出版)	アクセスノート数学 I
科目の概要と目標	方程式と不等式, 2 次関数および図形と計量について理解し, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに, 数学的な見方や考え方のよさを確認する。			
単 元	学 習 内 容	到 達 度 目 標		
数と式	整式	<ul style="list-style-type: none"> ・整式に関する用語や計算に関する基本性質を理解し, 四則演算ができる。 ・公式などを利用して能率よく整式の展開や因数分解ができる。 		
	実数	<ul style="list-style-type: none"> ・数の範囲を実数まで拡張し, 実数の性質を理解する。 ・平方根の意味を再確認し, その計算に習熟する。 ・やや複雑な形の分母の有利化の方法を身につける。 		
不等式と方程式	不等式	<ul style="list-style-type: none"> ・不等式の性質を理解し, 1次不等式を解く。 		
	2 次方程式	<ul style="list-style-type: none"> ・因数分解や, 平方根の考えを用いて 2 次方程式を解く。 ・解の公式を導き, 解の公式を用いて 2 次方程式を解けるようにし, 実数解の個数と $b^2 - 4ac$ の符号との関係について理解する。 		
2 次関数	2 次関数とグラフ	<ul style="list-style-type: none"> ・2 次関数のグラフの概形を平行移動の考え方を利用して描く。 ・グラフが与えられたとき, その 2 次関数を決定できる。 ・2 次関数のグラフを利用して, 2 次関数の最大・最小が求められる。 		
	グラフと方程式・不等式	<ul style="list-style-type: none"> ・2 次関数と 2 次方程式の関係を理解し, 2 次関数のグラフと x 軸の位置関係や共有点の個数を $D=b^2 - 4ac$ を用いて調べられる。 ・2 次関数のグラフと x 軸の位置関係から 2 次不等式を解く。 		
図形と計量	三角比	<ul style="list-style-type: none"> ・三角比の意味を理解し, その値を活用できる。 ・三角比を利用して, 辺の長さや角の大きさを求める。 ・三角比の相互関係を理解し, 活用できる。 ・角を 0° から 180° まで拡張し, その意味を理解する。 		
	三角比と図形	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形の面積の公式, 正弦定理, 余弦定理を導き, 活用できる。 ・三角比を利用して, 平面図形の線分の長さ, 角の大きさや面積などが求められる。 		
	図形の計量	<ul style="list-style-type: none"> ・三角比を空間図形の計量に活用できる。 ・相似な平面図形の面積比, 相似な立体の表面積の比・体積比について, これらと相似比との関係を理解する。 ・球の体積と表面積が求められる。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材
理科 理科総合 A	2年 薬業科	2	新編理科総合 A （東京書籍）	ニューサポート 新編理科総合 A
科目の概要と 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象について、観察や実験などを通してエネルギーと物質について理解することができる。 ・自然と人間との関わりについて考察し、自然に対する総合的な見方や考え方を養う。 			
単 元	学 習 内 容	到 達 度 目 標		
自然の探求	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の見方 ・探求の仕方 ・レポートや発表の仕方 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然現象を考察する方法について理解できる。 ・自然の規則性や法則性を確認するため、観察、仮説、実験、結果などの方法について理解できる。 ・レポートの書き方を理解し、発表、討論などができる。 		
物質の構成と 変化	<ul style="list-style-type: none"> ・物質の構成 ・物質の変化 	<ul style="list-style-type: none"> ・物質の成り立ちと原子の構造について理解できる。 ・元素の周期律と電子配置について理解できる。 ・イオンと電気分解について理解できる。 		
エネルギーの 変換と保存	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーを使ってする仕事 ・熱として放出されるエネルギー ・エネルギーの変換 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事の概念を理解できる。 ・位置エネルギーと運動エネルギーについて理解できる。 ・力学的エネルギー保存の法則を理解できる。 ・仕事と熱とエネルギーの関係を理解できる。 ・さまざまなエネルギーの存在を知り、その変換について理解できる。 		
資源の開発と 利用	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー資源の利用と問題 ・天然資源とその利用 ・資源の開発と環境問題 	<ul style="list-style-type: none"> ・蓄積、非蓄積エネルギーの違いを理解できる。 ・化石燃料についての理解が深まり、火力、原子力発電の仕組みが理解できる。 ・資源開発の現状を知り、環境問題を考えることができる。 		
物質の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりの物質 ・生物がつくる物質 	<ul style="list-style-type: none"> ・金属やプラスチックなどについて、その特徴が理解できる。 ・身の回りの物質とエネルギーとの関係が理解できる。 ・磁性体について、その特徴や利用方法などが理解できる。 ・社会は生物が作る物質によって支えられていることが理解できる。 ・物質の生産と生物の関係について理解できる。 ・合成物質と生物の関係について理解できる。 		
課題探求	<ul style="list-style-type: none"> ・課題探求の方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題研究を通して、科学技術のあり方について考えることができる。 		

教科・科目	対象 学科 学年	単位数	使用教科書 (出版社)	使用副教材 (出版社)
理科 理科総合B	薬業科 1 学年	2	理科総合B 生物と自然環境のサイエンス (数研出版)	ニューライフ理科総合B (数研出版)
教科の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な生物や自然環境の見方・考え方、原理・法則を学び、科学的な自然観・考え方を養う。 ・観察や実験などから、自然に対する興味・関心やそれを追求する意識を高め、科学的に追求する能力と態度を養う。 			
単 元	学 習 項 目	具体的な学習到達目標(留意点等)		
自然の探求	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の見方 ・自然界の多様性と共通性 ・自然界の変化と平衡 ・自然の探求の進め方 	<ul style="list-style-type: none"> ・被子植物の花の構造や火成岩の種類を例として、自然の多様性と共通性について理解できる。 ・動物の個体数の変動と火山の活動を例として、自然界の変化と平衡について理解できる。 ・自然の事物や現象に関する課題を見つけ出し、科学的に探求する方法について理解できる。 ・レポートの書き方を理解し、発表や討論などができる。 		
地球の姿と移り変わり	<ul style="list-style-type: none"> ・変動する地球 ・多様な景観 ・大気と水の動き ・日本の天気 ・惑星としての地球 ・地球の誕生 	<ul style="list-style-type: none"> ・地球の表面と内部の性質について理解できる。 ・地質構造や地震と火山活動について理解できる。 ・火山活動や水の働きによる地表の変動について理解できる。 ・大気や海水の大循環について理解できる。 ・地球の熱収支について理解できる。 ・天気の変化の要因と日本の四季の天気について理解できる。 ・太陽系と惑星の性質について理解できる。 ・地球の誕生と進化について理解できる。 		
生命の移り変わり と自然のつりあい	<ul style="list-style-type: none"> ・生命の誕生とその発展 ・生物の変遷と地球環境の変化 ・遺伝の法則 ・生物の多様性 ・生物と環境の関わり 	<ul style="list-style-type: none"> ・原始生命の誕生と進化について理解できる。 ・遺伝の法則と遺伝現象について理解できる。 ・遺伝子の性質について理解できる。 ・生物の多様性と地球環境の関わりについて理解できる。 ・生態系とその変化について理解できる。 ・生態系での物質の循環とエネルギーの流れについて理解できる。 		
人間活動と地球環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・課題研究とその進め方 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物とそれを取り巻く環境の現状や課題について探求することができる。 ・探求活動を通して、自然に対する人間活動のあり方や地球環境の保全の重要性について考えることができる。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書(出版社)	使用教材
保健体育・体育	1年(男子) 薬業科	3	Active Sports 2010 (大修館出版)	
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにする。 ・体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育てる。 ・生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。 			
単元	学習内容	到達度目標		
体育理論と体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の変化とスポーツ ・運動技能の構造と学び方 ・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会におけるスポーツの意義や必要性、豊かなスポーツライフの設計と実践について理解する。 ・自己の体力や生活に応じた課題をもつとともに生活の中で実践できるようにする。 ・体づくり運動に対する関心や意欲を高めるとともに、互いに協力して運動できるようにする。 ・自己の体力や生活に応じて体ほぐしの行い方と体力の高め方を実践的に工夫できるようにする。 		
陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> ・競走 ・跳躍 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力に応じて技能を高め、競技したり記録を高めたりできるようにする。 ・互いに協力して練習や競技できるようにし、勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。 ・健康、安全に留意して練習や競技ができる。 ・自己の能力に応じた課題の解決を目指して計画的な練習や競技の仕方を工夫できるようにする。 		
球技	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボール ・サッカー ・バスケットボール 	<ul style="list-style-type: none"> ・チームの課題や自己の能力に応じて技能を高め、作戦を生かしたゲームができるようにする。 ・自己の役割や責任を果たし、互いに協力して練習やゲームを行い、勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。 ・チームや自己の課題の解決を目指して、計画的な練習やゲームの仕方を工夫できるようにする。 		
ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・フォークダンス 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本となるステップや動きを身につけ、リズムにのってのびのびと踊ることができる。 ・踊る楽しさや喜びを味わうとともに、協力して練習できるようにする。 		
器械運動	<ul style="list-style-type: none"> ・マット運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力に応じて技能を高め技が円滑にできるようにする。 ・互いに協力や補助して練習できるようにし、安全に留意して練習や発表できるようにする。 ・自己の能力に応じた技を習得するための計画的な練習や発表の仕方を工夫できるようにする。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書(出版社)	使用教材
保健体育・体育	1年(女子) 薬業科	3	Active Sports 2010 (大修館出版)	
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにする。 ・体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育てる。 ・生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。 			
単元	学習内容	到達度目標		
体育理論と体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の変化とスポーツ ・運動技能の構造と学び方 ・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会におけるスポーツの意義や必要性、豊かなスポーツライフの設計と実践について理解する。 ・自己の体力や生活に応じた課題をもつとともに生活の中で実践できるようにする。 ・体づくり運動に対する関心や意欲を高めるとともに、互いに協力して運動できるようにする。 ・自己の体力や生活に応じて体ほぐしの行い方と体力の高め方を実践的に工夫できるようにする。 		
陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> ・競走 ・跳躍 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力に応じて技能を高め、競技したり記録を高めたりできるようにする。 ・互いに協力して練習や競技できるようにし、勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。 ・健康、安全に留意して練習や競技ができる。 ・自己の能力に応じた課題の解決を目指して計画的な練習や競技の仕方を工夫できるようにする。 		
球技	<ul style="list-style-type: none"> ・バレーボール ・バドミントン ・テニス ・バスケットボール 	<ul style="list-style-type: none"> ・チームの課題や自己の能力に応じて技能を高め、作戦を生かしたゲームができるようにする。 ・自己の役割や責任を果たし、互いに協力して練習やゲームを行い、勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。 ・チームや自己の課題の解決を目指して、計画的な練習やゲームの仕方を工夫できるようにする。 		
ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・フォークダンス 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本となるステップや動きを身につけ、リズムにのってのびのびと踊ることができる。 ・踊る楽しさや喜びを味わうとともに、協力して練習できるようにする。 		
器械運動	<ul style="list-style-type: none"> ・マット運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力に応じて技能を高め技が円滑にできるようにする。 ・互いに協力や補助して練習できるようにし、安全に留意して練習や発表できるようにする。 ・自己の能力に応じた技を習得するための計画的な練習や発表の仕方を工夫できるようにする。 		

教科・科目	学科	学年	単位数	使用教科書（出版社）
保健体育・体育	薬業科	2年	2	NEW COLOR SPORTS（一橋出版）
科目の概要と目標	1 様々な身体活動を通して、健全な肉体と精神を培う。 2 種目の特性を理解し運動技能を高めるとともに、健康の保持増進に努める。 3 安全に留意しながら仲間と協力し、生涯に涉り運動を実践する素地を形成する。			
単 元	学習内容	到達度目標		
体育理論と 体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・生涯スポーツと健康 ・準備運動 ・トレーニング方法 ・体ほぐし 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の体に関心を持ち、自己の体力や生活に応じた課題を持って運動を行い、体ほぐしをしたり、体力を高めたりできるようにする。 ・体力づくり運動に対する関心や意欲を持って互いに協力して運動ができるようにする。 ・自己の体力や生活に応じて、体ほぐしの行い方と体力の高め方を工夫できるようにする。 ・決まりを遵守し安全に留意しながら活動することを理解し、行動様式を身に付ける。 ・スポーツの持つ特性や歴史を理解するとともに体調を考慮して運動を処方することができる。 ・身体の部位や動きを意識しながら行うことができる。 ・負荷の強度や量など運動の行い方を工夫し体力を高め、健康の保持増進を図ることができる。 ・一人又はペアで手軽な運動や律動的な運動を行い、体を動かすことの楽しさを味わう。 		
器械運動	<ul style="list-style-type: none"> ・マット運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力に適した課題を持って運動を行い、その技能を高め、技がよりよくできるようにする。 ・互いに協力して練習ができるようにするとともに、器械・器具を点検し安全に留意して練習ができるようにする。 ・自己の能力に適した技を習得するための練習の仕方を工夫することができるようにする。 		
陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> ・競走 ・跳躍 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力に適した課題を持って運動を行い、その技能を高め、競技したり記録を高めたりできるようにする。 ・互いに協力して練習や競技ができるようにするとともに、勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。 ・練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習・競技ができるようにする。 ・自己の体力や体格、距離に応じたスタート方や走法（ピッチ走法、スライド走法）を身に付ける。 ・自己の体力に応じてペース配分を考えたり互いに走法やフォームを確認しながら活動できる。 ・自ら練習環境を整えたり、屋外での体温調節の仕方を理解し安全に留意し活動できる。 		
球 技	<ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボール ・サッカー ・バレーボール ・テニス ・卓球 ・バドミントン ・ソフトボール 	<ul style="list-style-type: none"> ・チームの課題や自己の能力に適した課題を持って運動を行い、その技能を身に付け作戦を生かした攻防ができるようにする。 ・チームにおける自己の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して練習やゲームができるようにする。 ・勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。 ・練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習やゲームができるようにする。 ・チームや自己の課題の解決を目指して、ルールを工夫したり練習の仕方やゲームの仕方を工夫できるようにする。 		
ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・フォークダンス 	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムの取り方、動き方など相手や仲間と調子を合わせ楽しく踊ることができる ・様々なフォークダンスの発祥の由来や文化的・歴史的背景を学ぶ 		

教科・科目	学科	学年	単位数	使用教科書（出版社）
保健体育・体育	薬業科	3年	2	NEW COLOR SPORTS（一橋出版）
科目の概要と目標	1 様々な身体活動を通して、健全な肉体と精神を培う。 2 種目の特性を理解し運動技能を高めるとともに、健康の保持増進に努める。 3 安全に留意しながら仲間と協力し、生涯に渉り運動を実践する素地を形成する。			
単元	学習内容	到達度目標		
体育理論と 体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・生涯スポーツと健康 ・準備運動 ・トレーニング方法 ・体ほぐし 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の体に関心を持ち、自己の体力や生活に応じた課題を持って運動を行い、体ほぐしをしたり、体力を高めたりできるようにする。 ・体力づくり運動に対する関心や意欲を持って互いに協力して運動ができるようにする。 ・自己の体力や生活に応じて、体ほぐしの行い方と体力の高め方を工夫できるようにする。 ・決まりを遵守し安全に留意しながら活動することを理解し、行動様式を身に付ける。 ・スポーツの持つ特性や歴史を理解するとともに体調を考慮して運動を処方することができる。 ・身体の部位や動きを意識しながら行うことができる。 ・負荷の強度や量など運動の行い方を工夫し体力を高め、健康の保持増進を図ることができる。 ・一人又はペアで手軽な運動や律動的な運動を行い、体を動かすことの楽しさを味わう。 		
器械運動	<ul style="list-style-type: none"> ・マット運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力に適した課題を持って運動を行い、その技能を高め、技がよりよくできるようにする。 ・互いに協力して練習ができるようにするとともに、器械・器具を点検し安全に留意して練習ができるようにする。 ・自己の能力に適した技を習得するための練習の仕方を工夫することができるようにする。 		
陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> ・競走 ・跳躍 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力に適した課題を持って運動を行い、その技能を高め、競技したり記録を高めたりできるようにする。 ・互いに協力して練習や競技ができるようにするとともに、勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。 ・練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習・競技ができるようにする。 ・自己の体力や体格、距離に応じたスタート方や走法（ピッチ走法、スライド走法）を身に付ける。 ・自己の体力に応じてペース配分を考えたり互いに走法やフォームを確認しながら活動できる。 ・自ら練習環境を整えたり、屋外での体温調節の仕方を理解し安全に留意し活動できる。 		
球 技	<ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボール ・サッカー ・バレーボール ・テニス ・卓球 ・バドミントン ・ソフトボール 	<ul style="list-style-type: none"> ・チームの課題や自己の能力に適した課題を持って運動を行い、その技能を身に付け作戦を生かした攻防ができるようにする。 ・チームにおける自己の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して練習やゲームができるようにする。 ・勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。 ・練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習やゲームができるようにする。 ・チームや自己の課題の解決を目指して、ルールを工夫したり練習の仕方やゲームの仕方を工夫できるようにする。 		
ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・フォークダンス 	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムの取り方、動き方など相手や仲間と調子を合わせ楽しく踊ることができる ・様々なフォークダンスの発祥の由来や文化的・歴史的背景を学ぶ 		

教科・科目	学 科	学 年	単位数	使用教科書（出版社）	副教材
保健体育・保健	薬業科	1	1	現代 保健体育(大修館)	図説現代保健(大修館)
科目の概要と目標	1, 個人生活や社会生活における心身の健康保持・増進を理解すると共に実践できる素地を形成する。 2, 健康問題をとりまく現代社会の問題点を理解し、解決に役立つ基礎的知識を学ぶ。 3, 心と身体が密接に関係していることを知り、適切な意志決定や行動を身に付ける。				
単 元	学 習 内 容		到 達 度 目 標		
【健康の考え方】	1 私達の健康のすがた 2 健康のとらえ方 3 さまざまな保健活動や対策		わが国の健康水準や健康問題を理解しながら、健康をどのように捉え、どのような活動対策が実施されているのかを学ぶ。		
【健康の保持増進と 疾病の予防】	4 生活習慣病と日常の生活行動 5 喫煙と健康 6 飲酒と健康		喫煙や飲酒など、さまざまな生活習慣が我々の健康に関係していることを理解し、生涯にわたり健康な生活を営む素地を形成する。		
	7 薬物乱用と健康 8 医薬品と健康		薬物乱用による健康障害や社会生活の危機を学ぶと共に、適切な薬の使い方や服用方法を知り、日常生活に役立てる。		
	9 感染症とその予防 10 エイズとその予防		エイズ・結核・エボラ出血熱など細菌やウイルスによる感染症を学び正しい知識を身に付け、適切な行動方法を理解する。		
【精神の健康】	11 健康にかかわる意志決定・行動選択 12 意志決定・行動選択に必要なもの		適切な意志決定・行動選択が健康の保持増進に必要であることを理解する。		
	13 欲求と適応機制 14 心身の相関とストレス 15 ストレスへの対応 16 自己実現		思春期に伴いさまざまな悩みを抱え込むことが多い高校時代。人間の心と身体が密接に関わり合っていることを知ると共に、適切な対処法を学び今後の社会生活に役立てる。		
【交通安全】	17 交通事故の現状と要因 18 交通社会における運転の資質と責任 19 安全な交通社会づくり		現代の日本における交通社会の諸状況を知り、問題意識を高め交通ルールを再確認すると共に、諸外国の試みを学びこれからの交通社会を考える。		
【応急手当】	20 応急手当の意識とその基本 21 心肺蘇生法 22 日常的な応急処置		応急手当や心肺蘇生法の意義や原理を理解すると共に、方法を学び、生涯にわたり実践できる素地を形成する。また、施術者が感染しないよう適切な器具の使い方や方法を学ぶ。		

教科・科目	学科	学年	単位数	使用教科書（出版社）	副教材
保健体育・保健	薬業科	2	1	現代 保健体育（大修館）	図説 現代保健（大修館）
科目の概要と目標	<p>1, 個人生活や社会生活における心身の健康保持・増進を理解すると共に実践できる素地を形成する。</p> <p>2, 健康問題をとりまく現代社会の問題点を理解し、解決に役立つ基礎的知識を学ぶ。</p> <p>3, 心と身体が密接に関係していることを知り、適切な意志決定や行動を身に付ける。</p>				
単 元	学習内容	到達度目標			
【生涯の各段階における健康】	<p>1 思春期と健康</p> <p>2 性意識と性行動の選択</p> <p>3 結婚生活と健康</p> <p>4 妊娠・出産と健康</p> <p>5 家族計画と人工妊娠中絶</p>	<p>思春期に伴いさまざまな身体の変化や男女差が顕著に表れる高校時代。正しい性意識と行動の取り方を身に付け幸せな結婚生活を意識づける。また、妊娠、出産、家族計画を学び今後の社会生活に役立てる。</p>			
	<p>6 加齢と健康</p> <p>7 高齢者のための社会的とりくみ</p>	<p>加齢による身体の形態面及び機能面の変化を知ると共に、生活習慣の大切さや周囲の支援の必要性を学ぶ。</p>			
【保健・医療制度及び地域の保健・医療機関】	<p>8 保健制度と保健サービスの活用</p> <p>9 医療制度と医療費</p> <p>10 医療機関と医療サービスの活用</p>	<p>個人や環境の健康を支援する保険制度の意義や制度を学び、豊かなライフステージが送れるように素地を形成する。</p>			
【環境と健康】	<p>1 大気汚染と健康</p> <p>2 水質汚濁と健康</p> <p>3 土壌汚染と健康</p> <p>4 健康被害の防止と環境対策</p>	<p>大気汚染や水質汚濁、土壌汚染などの歴史的背景を学ぶと共に、人体に及ぼす影響力の強さを知り、今後の社会生活に役立てる。</p>			
【環境と食品の保健】	5 環境衛生活動のしくみと働き	<p>ゴミの分別収集や企業責任など、社会をとりまく現状を知り問題意識を高め、よりよい環境のあり方を学ぶ。</p>			
	<p>6 食品衛生活動のしくみと働き</p> <p>7 食品と環境の保健と私たち</p>	<p>世界各国から流通される食品や加工物。それらをとりまく諸問題や企業責任などを学び、今後の社会生活に役立てる。</p>			
【労働と健康】	<p>8 働くことと健康</p> <p>9 労働災害・職業病と健康</p> <p>10 健康的な職業生活</p>	<p>我々の健康に大きな影響を与える労働の諸問題を学び、安全な労働環境を知ると共に職業意識を高める。</p>			

教科・科目	対象学年	単位数	教科書（出版社）	使用教材
芸術・音楽Ⅰ	1学年 薬業科	2	MOUSA1 (教育芸術社)	Music Navigation (教育出版)
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てる。 ・曲を表現するために必要な技能を身につける。 ・基礎的なソルフェージュの能力を伸ばす。 ・鑑賞を通して感性を高め、より一層表現の幅を広げる。 			
単元	学習内容	到達度目標		
歌 唱	発声法	<ul style="list-style-type: none"> ・発声の基本(姿勢、口の形、共鳴、呼吸法、腹筋)を身につけようと意欲的に取り組んでいる。 ・歌詞の内容を大切にし、曲にあった表現を工夫することができる。 ・フレーズ感や曲のまとまりを意識して歌うことができる。 ・原語の自然な表現で歌うことができる。 ・国や地域の曲の特徴を感受して、表現豊かに歌うことができる。 ・アンサンブルの中で、美しい響き、豊かな表現を求める姿勢を持ち、互いに協調しながら音楽を作り上げることができる。 ・リコーダーの正しい運指やタンギング等、基本的な奏法を学習し、美しい音色で演奏できる。 ・ソプラノ、アルト、テナー、バスのリコーダーの響きを感受し、アンサンブルを楽しむことができる。 ・ギターのTAB譜を理解し、メロディ、コード、アルペジオ奏法ができる。 ・箏の楽譜や調弦を理解し、美しい音、豊かな響きで演奏できる。 ・押し手、搔き爪、合せ爪等のいろいろな奏法を身につけ、音色の違いを感じ取ることができる。 ・指揮者の役割を考え、指揮によって曲が変化することを感じ取ることができる。 ・楽曲の演奏形態の違い、構成する楽器の違いを知り、特徴を捉えて聞くことができる。 ・作曲家の人間像や、歴史的背景を理解することができる。 ・2～5度程度の曲を正しい音程で歌うことができる。 ・簡単なリズムを聞き分けることができる。 ・音符や休符の種類や長さを理解する。 ・楽譜にある拍子や調、記号を理解し、表現に結びつけることができる。 		
	日本の歌			
	世界の歌			
	合唱			
器 楽	リコーダー			
	ギター			
	箏			
鑑 賞	指揮者について			
	独奏曲・室内楽・交響曲・協奏曲			
ソルフェージュ	コールユーブンゲン			
	聴音 楽典			

教科・科目	対象学年	単位数	教科書（出版社）	使用教材
芸術 美術 I	1 学年 薬業科	2	美術 1（光村）	なし
科目の概要と 目標	感性を高めるために、よく見て描くことを大切にし、表現技法の理解を深める。また後半は、作家や作品に触れる中で抽象的表現や構成して表現する態度や能力を伸ばす。			
単 元	学 習 内 容	到 達 度 目 標		
絵画 鉛筆デッサン クロッキー	<ul style="list-style-type: none"> 自分の手や顔、友人の顔のデッサン 友人のクロッキー 校舎や室内の風景を背景にした自画像制作 	<ul style="list-style-type: none"> 鏡を使って、自画像や友人の横顔を描いて顔の構造を知る。 短時間で友達の表情や特徴をとらえるクロッキーを行う。 透視図法を理解して、校舎や中庭をスケッチする。 自画像は、背景に教科書の作品や風景を構成して、新しい画面構成を工夫する。 		
絵画 水彩画	<ul style="list-style-type: none"> 季節の花をモチーフにした水彩画制作 	<ul style="list-style-type: none"> 紫陽花をよく観察して、複雑な形を忠実にデッサンする。 淡彩技法で花や葉の色彩を色の三属性を意識して着彩する。 		
鑑賞 西洋美術史	<ul style="list-style-type: none"> 印象派以降の西洋絵画の作品の変遷を理解 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の年表を使って、19世紀にカメラが発明されて以来、西洋絵画が具象から抽象に変化していく様子を、その時代背景や作家の生き方から考える。 		
絵画 版画	<ul style="list-style-type: none"> 有り得ない風景をエッチング技法で制作 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の後期印象派やアブストラクトやシュールレアリズムの手法を知って、自分も同様にコラージュして場面を構成する。また、それをエッチングの特性を知って、版画作品にする。 		
デザイン 図法	<ul style="list-style-type: none"> 自分が20年後に住む家を考え、平面図、立面図を制作 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の尺貫法から尺や坪の計り方を知って、自分で考えた家の平面図（間取り図）をかく。また人間工学の考え方を理解して、間取り図から立面図を考え、土地を含めた外観をアイソメ図法で描く。また家の機能性を考えて、デザインの概念を理解する。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材
芸術・書道 I	1・薬業科	2	書 I（教育図書）	
科目の概要と目標	書道の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、書写能力を高め表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばす。			
単元	学習内容	到達度目標		
書へのいざない	書に親しもう	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校までの学習を振り返る。 ・書写と書道の共通性と相違を理解する。 		
漢字の書の学習	古典に学ぼう	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の書の変遷について学ぶ。 ・漢字の古典の鑑賞により、多様な表現を理解する。 		
	楷書の古典	<ul style="list-style-type: none"> ・楷書古典の臨書学習により、基本的な点画や線質の表し方、用筆法・運筆法を学ぶ。 		
	行書の古典	<ul style="list-style-type: none"> ・行書古典の臨書学習により、行書の特徴を踏まえた用筆法・運筆法を学ぶ。 		
	篆刻	<ul style="list-style-type: none"> ・姓名印を作成し、創作作品に押印する。 		
仮名の書の学習	漢字の書の創作	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの思考や感動を表現できる語句を選び、楷書・行書それぞれの特徴を理解し、表現方法を工夫し、作品を制作する。 		
	平安時代の古筆に学ぼう	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名の成立と変遷、種類について学ぶ。 ・平安時代の名筆の学習を通して、仮名の書の美しさと特徴を理解する。 		
	仮名の基本用筆を学ぼう	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名の書独特の筆づかいに慣れ、基本用筆を習得する。 		
漢字仮名交じりの書の学習	仮名の書の創作	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの思考や感動を表現できる語句を選び、仮名の書の特徴を理解し、表現方法を工夫し、作品を制作する。 		
	書きたい思いをことばに	<ul style="list-style-type: none"> ・書の幅広い表現方法を理解する。 ・自らの思いや感動を表現する語句を選び、創作する。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材
外国語・英語 I	薬業科 1 年	3	Power ON English I (東京書籍)	Power ON English I ワークブック (東京書籍)
科目の概要と目標	1. 日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解する。 2. 日常的な話題について情報や考えなどを英語で話し伝える基礎的な能力を養う 3. 日常的な話題について積極的にコミュニケーションを図ろうとする能力を養う。			
単 元	学 習 内 容	到 達 度 目 標		
Lesson 1 Greetings around the World Lesson 2 Food cultures Lesson 3 Haiku: Here, There and Everywhere Lesson 4 Quill, the Guide dog Lesson 5 Sparky Lesson 6 Hippo's Secret Substans Lesson 7 So Many Cultures, So Many laws Lesson 8 The Emerald Isle Lesson 9 Matsui Hideki on the World Stage	世界のあいさつについての紹介を読み、国際交流について考える 日本や世界の食文化について理解を深める。 日本の伝統文化である俳句が今や交際的になっている状況を学ぶ 盲導犬の存在やその仕事について学ぶ。 チャーリー・ブラウンの誕生秘話と作者チャールズ・シュルツさんの人生から学ぶ。 カバの赤い汗に着いての研究の話を読み、その秘密について学ぶ。 世界の不思議な法律について学び、それが生まれた背景を考える。 アイルランドが「エメラルドの島」と呼ばれる理由やこの国の文化について学ぶ。 松井秀喜選手のこれまでの人生についての物語を読み、その魅力について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学既習の文型 (SV/SVC/SVO) や助動詞・動名詞を確認する ・ 中学既習の文型 (SV00, SV0C)を確認する。 ・ 不定詞と比較表現を理解する。 ・ 受け身、進行形、分詞の形容詞的用法を理解する。 ・ SV0(O=that節)の文を理解する。 ・ S+[ask, tell]+O+to-不定詞を理解する ・ 疑問詞+to-不定詞 (～したらよいか) を理解する。 ・ L2で確認した不定詞に関連させ、It is + (for～) to-不定詞の用法を学ぶ。 ・ 中学既習の現在完了形 [継続、完了・結果、経験]、関係代名詞whoを確認する。 ・ 現在完了形と関連させて現在完了進行形を理解する ・ 助動詞+受け身を理解する ・ SV00の内、直接目的語がthat節などの場合について理解する ・ SV00のの文型でOがwhatなどの節の場合について理解する。 ・ 関係副詞whereを理解する。 ・ 現在完了形と関連させて過去完了を理解する。 ・ 強調構文について理解する。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書(出版社)	使用教材
家庭 家庭総合	2・3年(継続) 薬業科	2 2	新家庭総合 (実教出版)	自作プリント、新調理実習テキスト 家庭科データ☆グラフ(教育図書)
科目の概要と 目標	人の一生を総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会の関わりについて理解する。家庭生活の充実向上をはかるために必要な衣食住の基礎的な知識と技術を学び、実践的な態度を身につける。			
単 元	学習内容	到達度 目 標		
何を学ぶのか	未来をひらく生き方 とパートナーシップ	学習の意義や内容、学習方法、評価の方法などを理解する。		
1 人とかかわ って生きる	(1) 自分らしく 生きる (2) 家族とかか わって生きる (3) 子どもとかか わって生きる (4) 高齢者とかか わって生きる (5) 社会とかかわ て生きる	(1) 自分自身について客観的に知り、生涯を見通したそれぞれのライフステージごとの特徴、課題を理解する。 (2) 家族と家庭の存在を考える。 (3) ア 乳幼児の心身の発達について知る。 イ 親の役割や保育について理解する。 ウ 子育て支援や子どもの権利について学ぶ。 (4) ア 高齢社会の現状と課題について知る。 イ 高齢者の心身の特徴や生活を理解する。 (5) ア 社会福祉や社会保障制度を考える。 イ ボランティア活動について関心を持つ。		
2 生活を つくる	(1) 食生活を つくる 調理実験・実習 (2) 衣生活を つくる (3) 住生活を つくる 生活文化の 伝承と創造	(1) ア 食生活の現状や課題について理解する。 イ 栄養と食品との関わり、献立について理解する。 ウ 食生活の安全と衛生を考える。 エ 実習を通して基礎的な技術を身につけ、食事マナーを知り楽しく食事ができる。 (2) ア 衣服の機能を知り装いの基本を学ぶ。 イ 被服の選択と手入れの方法を知る。 ウ 基礎縫いや簡単な日常着の製作を通して基礎的な技術を習得する。 (3) ア 住まいの機能、文化、風土、ライフサイクルとの関わりについて知る。 イ 快適で安全な住環境を考える。 今に伝わる暮らしの伝承、生活の知恵について理解し、これからの生活文化について考える。		
3 消費者とし て自立する	(1) 消費行動を 考える (2) 経済的に 自立する	(1) ア 消費行動における主体的な意思決定のプロセスを理解する。 イ 消費者の権利と責任について理解する。 ウ 資源・環境に配慮した生活スタイルについて考え実行できるようにする。 (2) 家庭の収支や支出、予算生活の必要性について理解する。		
4 ホームプロ ジェクト	家庭生活に関する 問題解決学習	自分の生活の中の問題点を発見し、解決する実践応用力を養う。		
5 生活設計	これからの人生	家庭基礎の学習を生かして、自分らしい生き方を設計する。		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	使用教科書（出版社）	使用教材
情報・情報B	1 学年・薬業科	2	最新情報B（実教出版）	「情報」活用テキスト
科目の概要と目標	<p>1 問題解決にコンピュータを活用する際に必要な考え方や方法を理解させ、実際に問題解決に当てはめて、考え方や方法を習得する。</p> <p>2 情報技術の面から情報社会を考え、情報社会を発展させるためには社会のニーズに対応した情報技術の開発や改善が必要であることを理解し、情報社会に参画する態度を身につける。</p>			
単元	学習内容	到達度目標		
私たちの生活と情報社会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報社会での心構え 受信者としての責任 発信者としての責任 2. 情報社会でのモラルと責任 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の発信・受信者として、正確な情報の発信、プライバシーや著作権、情報の信憑性などについて学び、情報社会での心構えを身につける。 ・情報社会での法律を守り、モラルと責任を持って、情報機器を利用できる。 		
問題解決とコンピュータ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報機器の変化 2. コンピュータの特徴 3. コンピュータによる問題解決 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報機器の変化やデジタル技術が生活や社会に与えている影響について知る。 ・コンピュータの得意・不得意を学び、生活の中に出てくる問題の解決に効果的にコンピュータを生かすことができる。 		
情報の表現とコンピュータのしくみ	<ol style="list-style-type: none"> 1. アナログとデジタル 2. ビットと情報量 3. 2進数と10進数 4. 数値・文字の表現 5. 音の表現 6. 画像の表現 7. 図形と動画の表現 8. 論理演算 9. 論理回路とコンピュータの機能 	<ul style="list-style-type: none"> ・アナログとデジタルの違い、デジタル化の特徴を理解する。 ・ビットと情報量を学ぶ。 ・2進数と10進数の関係を学び、変換ができる。 ・整数・補数・実数の表現を正確にできる。 ・文字の2進数表現や文字コードについて学ぶ。 ・音や画像のデジタル化の仕組みを理解する。 ・図形、動画についての概念を理解する。 ・コンピュータが扱う論理演算や簡単な論理回路について理解する。 		
コンピュータでの情報の処理	<ol style="list-style-type: none"> 1. アルゴリズム 2. アルゴリズムの基本構造 3. 探索と並べ替え 4. 表計算ソフト利用における処理の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・アルゴリズムの基本構造を学び、フローチャートで表現できる。 ・データの探索と並べ替えの方法を身につける。 ・表計算ソフトを利用して、効率的に処理を行う工夫を身につける。 		
情報技術と社会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報通信 2. コンピュータによる計測・制御 3. 安全性 4. 使いやすさ 5. 社会・生活の変化 6. 情報社会における諸問題 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットの仕組み、通信方式、プロトコルについて理解する。 ・情報技術の安全対策（ウイルス対策、ファイアウォール、暗号化、電子署名と電子認証）について学び、インターネットを安全に利用できる。 ・知的財産権、個人情報について理解し、正しく情報機器を利用できる。 ・情報化のさまざまな影響（犯罪、情報格差、健康への影響、雇用問題の変化など）を学び、情報化社会の問題点を理解する。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材
工業 工業技術基礎	薬業 1年	2	工業技術基礎(実教出版)	基礎数学（実教出版）
科目の概要と 目標	工業に関する基礎的な技術を実験や実習によって体験し、各分野における工業技術への興味・関心を高め、工業の意義や役割を理解し、広い視野を養い、工業の発展を図る意欲的な態度を身に付ける。			
単 元	学 習 内 容	到 達 度 目 標		
基礎数学	数学の基礎 工業化のための数学	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算、指数計算、式の変形を理解する。 ・一次方程式を理解する。 ・SI基本単位、SI接頭語の意味を理解し、数値変換ができる。 ・有効数字の概念を理解する。 ・濃度の概念を理解する。また、溶液の濃度の表し方を学ぶ。 		
実験実習	オリエンテーション 実験・実習報告書の作成 加熱の方法 ガラス細工 質量、容量の測定	<ul style="list-style-type: none"> ・「工業技術基礎」の学習を通して、工業の各分野の基礎的な技術を修得する意義を理解させる ・実験・実習の結果を報告書としてまとめる手法を習得する。 ・ガスバーナーの仕組みを理解する。 ・ガラス管の切断、曲管、スポイドの作成上の注意点を理解する。 ・質量、容量の測定器具の使い方を習得する 		
試薬調製	濃度（1）試薬調製法 ・希塩酸 ・希硫酸 ・希硝酸 ・希アンモニア水 ・水酸化ナトリウム 溶液 物質の安全な取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・試薬調製、希釈の原理を理解し、計算することができる。 ・実習などで取り扱う有害物質の性質を理解させ、物質によって起こる中毒・薬傷などについて学び、その取り扱い方法を理解する。 ・一般に取り扱う危険性物質について、その災害の原因や防止法を理解する。化学工業だけの災害ではなく、日常の災害の中にもいろいろな物質が関わっていることを理解、認識させる。 		
単位	SI単位系	SI基本単位、SI接頭語を使いこなす。数値変換がしっかりできる。		
工具の取り扱い	ノギス・マイクロメーターの使い方	ノギス・マイクロメーターの使いけいそくができるようになる。		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材
工業・課題研究	2年・薬業科	1		情報活用テキスト
科目の概要と目標	工業に関する課題を設定しその課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。			
単元	学習内容	到達度目標		
資格取得	パソコン検定 (4級)	<ul style="list-style-type: none"> ・ワープロ、表計算の機能を知る。 ・周辺機器の名称と機能について理解する ・タイピング練習を繰り返しブラインドタッチの技能を高める。 ・簡単な作図ができる。 ・電算室の使い方・マナーを守れる。 		
資格取得	パソコン検定 (3級)	<ul style="list-style-type: none"> ・ワープロ、表計算を使いこなすことができる。 ・一般的な関数を理解している。 ・パソコンのスペックを理解している ・セキュリティについて理解している。 ・モラルを守ることができる。 		
課題の設定	課題の設定	<ul style="list-style-type: none"> ・3年次に取り組む課題研究のテーマを決定する。 ・研究成果をまとめる・副題の設定ができる。 ・自分の意見をまとめ、発表することができる。 		
発表	パワーポイントの習熟	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンソフトが使える。 ・質問に的確に答えることができる。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材
工業・課題研究	薬業 3年	2		
科目の概要と目標	工業に関する課題を設定しその課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。			
単元	学習内容	到達度目標		
課題の設定	課題の設定・年間計画 実験方法の検索	<ul style="list-style-type: none"> ・目的を把握している。 ・ノートに必要事項が記録されている。 ・毎回、報告書が書かれている。 ・実験方法、実験器具がわかる。 ・専門用語について調べてある。 ・班員と協力して自分の役割を果たす。 ・結果が正確に記載され、わかりやすくまとめられている。 ・班員と協力して自分の役割を果たす。 		
研究・実験、	研究・実験、まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい服装で実験をする。 ・器具・試薬を準備できる。 ・器具等の破損に注意し、安全に実験をする。 ・自分で必要な情報を取得する。 ・実験結果について話し合いをもつ。 ・後始末をきちんとする 		
発表	まとめ、発表会資料の 作成 プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・正確でわかりやすい資料を作る。 ・自分の役割を果たし友達の発表を静かに聴く。 ・発表態度がよく、わかりやすい。 ・プレゼンソフトが使える。 ・質問に的確に答えることができる。 ・原稿を見ないで発表をする。 ・著作権を守り、情報モラルを身につける。 ・情報源を記録する。 		